



新年のご挨拶
社会福祉法人日本身体障害者団体連合会
あべ かずひこ
会長 阿部 一彦

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日身連は、皆さまのご支援とご協力を賜り活動を進めるなか、昨年、創設60周年を迎えることができました。先達の熱意溢れる行動とたゆまぬ努力により日本の障害者福祉は向上し、現在の日身連の活動の基礎を築かれたように、60年を経た本年2019年を新たな出発の年としたいと思っております。

現在、障害分野においては、障害者権利条約を踏まえた障害者施策の促進が図られています。大変心強く、喜ばしいことだと感じておりますが、福祉サービスの促進に留まることなく、私たちを取り巻く環境をさらに向上させることが日身連の努めであろうと考えております。

障害者権利条約の批准は、障害関係者にとり長年の夢でした。その実現をみた今、権利条約を踏まえ、私たちを取り巻く生活環境も大きく変わってきましたが、福祉の向上に留まらず、障害者差別解消法の考えを地域にしっかり根づかせ、障害及び障害者理解の啓発促進を進めていくことが、日身連の努めであると考えます。

昨年、公にされた公務部門の障害者雇用の水増し問題は、障害に対する無理解・無知識といった面も深く関わっていたと感じます。この問題を大きな反省の機として、日身連は、再発防止の解決で終わることなく、障害者雇用の継続、定着に繋げるものとなり、障害者の社会参加の促進となるよう、一層の努力を行っていきたく思います。

また、災害時を含めたバリアフリー対策の在り方等についても、障害理解の啓発促進と結びつけ、全国組織のネットワークをもつ日身連の強みを生かし、地域社会と連携した地域福祉の向上に貢献したく思います。

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、障害に対する社会の関心が大きく動いている今、この機会を逃すことなく、加盟団体の皆さまとの強い連携力で、共生社会の実現に向けて頑張ってまいりましょう。すべての皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

12月4日、首相官邸において第3回ユニバーサルデザイン2020閣僚会議が開催され、関係府省の大臣等と、阿部一彦会長ほか障害関係10団体が出席しました。3回目となる会議では、ユニバーサルデザイン2020行動計画の加速を目指すとして、2020年度以降、小中学校の

学習指導要領を改訂し全面实施される「心のバリアフリー」教育の充実や交通等サービス産業だけでなく一般企業においても心のバリアフリーへの取組について経済団体と協力連携していくことが話されました。また、街づくりのユニバーサルデザインについても、本年5月に成

ユニバーサルデザイン2020 閣僚会議・評価会議が開催



発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
テアダックビル4階
TEL03-3565-3399(代)
FAX03-3565-3349
http://www.nissinren.or.jp
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

立した改正バリアフリー法や鉄道駅やホテル旅館のバリアフリー化の促進を行っていくことが確認されました。また、2020行動計画で示された「ユニバーサルデザイン評価会議」を、この4日に設置開催し、行動計画の実行を加速していくことが話されました。阿部会長からは、行動計画が障害領域だけの限られたものと捉えられることなく、国民や企業、地域団体等と一緒に、自分たちが主体的に取り組む行動計画であることの重要性を伝えていく役割は果たしたいと意見表明しました。閣僚会議終了後、第1回ユニ



UD2020閣僚会議・評価会議の様相

ユニバーサルデザイン評価会議が、同会議室にて開催されました。閣僚会議に出席した団体に加え、その他障害関係団体、学識経験者とオブザーバーとして内閣官房及び各府省庁の担当者が出席しました。会議では、行動計画の実効性担保の枠組み案として、評価会議で行動計画の進捗状況を確認しながら、関係各省へ改善提案を示し、その提案に基づき施策を検討し改善措置を講じる「加速化プロセス」(年度単位のサイクル)が説明されました。出席委員からは、バリアフリー関係の課題等が提示されるなど、今後の評価会議への期待が寄せられました。次回は年度末を目的に開催され、行動計画に係る各省の取組について検討を行う予定です。